



2020年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月9日

上場会社名 大黒天物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2791 URL http://www.e-dkt.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大賀 昭司
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役企業戦略室長 (氏名) 川田 知博 TEL 086-435-1100
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績（2019年6月1日～2019年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	100,322	13.8	1,918	37.2	1,998	35.8	1,186	285.0
2019年5月期第2四半期	88,123	10.1	1,397	△35.6	1,471	△34.7	308	△73.3

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 1,217百万円 (297.4%) 2019年5月期第2四半期 306百万円 (△75.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	84.90	—
2019年5月期第2四半期	21.89	21.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第2四半期	72,488	33,917	46.6
2019年5月期	72,374	33,219	45.7

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 33,796百万円 2019年5月期 33,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2020年5月期	—	0.00	—	—	—
2020年5月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	193,500	5.5	4,520	64.9	4,520	54.9	2,380	738.0	170.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2020年5月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、2019年12月までに自己株式が取得されており、これに伴う自己株式の増加10,900株（約定ベース）を考慮して算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期2Q	14,474,200株	2019年5月期	14,474,200株
② 期末自己株式数	2020年5月期2Q	501,920株	2019年5月期	450,020株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期2Q	13,979,013株	2019年5月期2Q	14,081,638株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資は底堅く、10月の消費増税の影響が懸念されていた個人消費も底割れしないと見られているものの、海外経済の弱含みから自動車関連の輸出が低迷し、製造業を中心に先行きの不透明感は増しております。

小売業界におきましては、業種・業態を超えた販売競争の激化や物流費の値上げ、最低賃金の引き上げによる人件費の増加、パート・アルバイトの採用難が深刻になるなど、大変厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループでは、食の安心・安全を確保するための品質・鮮度管理の徹底、売場環境の整備、接客の向上、「安くて新鮮で美味しい商品」をスローガンに商品開発の実践、ESLP(エブリデイ・セーム・ロープライス)による地域最安値価格を目指すなど、魅力ある店作りを展開してまいりました。また、成長戦略として、新潟県と愛媛県にそれぞれ1店舗の新規出店と、店舗の老朽化に伴う既存店の建替えを1店舗、生鮮売場を強化した大幅改装を2店舗で実施いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,003億2千2百万円(前年同期比13.8%増)、経常利益は19億9千8百万円(前年同期比35.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億8千6百万円(前年同期比285.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、183億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千4百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、現金及び預金の減少(73億6千3百万円から64億1千7百万円へ9億4千5百万円減少)などに対し、商品及び製品の増加(59億8千3百万円から65億7千5百万円へ5億9千1百万円増加)、その他の流動資産の増加(42億1千1百万円から46億7千4百万円へ4億6千2百万円増加)などによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、541億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千9百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、有形固定資産の減少(424億9千1百万円から420億4千8百万円へ4億4千2百万円減少)に対し、投資その他の資産の増加(114億8千4百万円から119億1千2百万円へ4億2千7百万円増加)などによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、297億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億3千4百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、支払手形及び買掛金の減少(124億8千9百万円から122億7千1百万円へ2億1千7百万円減少)、その他の流動負債の減少(70億9千4百万円から62億9千7百万円へ7億9千6百万円減少)に対し、短期借入金の増加(79億9千5百万円から95億2千5百万円へ15億3千万円増加)、未払法人税等の増加(7億3千6百万円から11億2千9百万円へ3億9千2百万円増加)などによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、88億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億1千7百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、長期借入金の減少(55億7千9百万円から40億1千5百万円へ15億6千3百万円減少)などによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、339億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億9千7百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、自己株式の増加による減少(△5億5千7百万円から△7億3千3百万円へ1億7千5百万円減少)に対し、利益剰余金の増加(301億6千8百万円から310億4百万円へ8億3千6百万円増加)などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期通期の業績予想につきましては、概ね計画どおりに推移しており、連結、個別ともに2019年7月10日公表の業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,363	6,417
受取手形及び売掛金	263	269
商品及び製品	5,983	6,575
仕掛品	244	197
原材料及び貯蔵品	386	381
その他	4,211	4,674
貸倒引当金	△206	△203
流動資産合計	18,247	18,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,933	26,985
土地	8,109	7,944
その他(純額)	7,448	7,118
有形固定資産合計	42,491	42,048
無形固定資産	149	214
投資その他の資産		
建設協力金	1,779	1,903
差入保証金	4,775	4,771
その他	4,985	5,295
貸倒引当金	△55	△57
投資その他の資産合計	11,484	11,912
固定資産合計	54,126	54,176
資産合計	72,374	72,488

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,489	12,271
短期借入金	7,995	9,525
未払法人税等	736	1,129
賞与引当金	458	478
資産除去債務	—	6
その他	7,094	6,297
流動負債合計	28,773	29,708
固定負債		
長期借入金	5,579	4,015
退職給付に係る負債	38	42
資産除去債務	2,544	2,637
その他	2,218	2,166
固定負債合計	10,380	8,862
負債合計	39,154	38,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	1,823	1,823
利益剰余金	30,168	31,004
自己株式	△557	△733
株主資本合計	33,096	33,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	40
その他の包括利益累計額合計	14	40
新株予約権	28	35
非支配株主持分	80	84
純資産合計	33,219	33,917
負債純資産合計	72,374	72,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	88,123	100,322
売上原価	68,035	77,132
売上総利益	20,087	23,190
販売費及び一般管理費	18,689	21,272
営業利益	1,397	1,918
営業外収益		
受取利息	14	16
受取配当金	5	2
受取賃貸料	23	46
受取保険金	9	31
その他	35	32
営業外収益合計	89	129
営業外費用		
支払利息	15	19
賃貸費用	—	26
その他	0	2
営業外費用合計	16	48
経常利益	1,471	1,998
特別利益		
固定資産売却益	—	67
受取保険金	44	—
受取補償金	44	—
特別利益合計	89	67
特別損失		
固定資産売却損	—	24
災害による損失	572	—
特別損失合計	572	24
税金等調整前四半期純利益	988	2,042
法人税、住民税及び事業税	929	1,000
法人税等調整額	△254	△149
法人税等合計	675	851
四半期純利益	312	1,190
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	308	1,186

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	312	1,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	26
その他の包括利益合計	△6	26
四半期包括利益	306	1,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301	1,213
非支配株主に係る四半期包括利益	4	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	988	2,042
減価償却費	2,595	2,557
のれん償却額	9	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	35	19
貸倒引当金の増減額(△は減少)	175	△2
受取利息及び受取配当金	△20	△19
支払利息	15	19
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△43
災害損失	572	—
受取保険金	△44	—
受取補償金	△44	—
建設協力金の家賃相殺額	83	93
預り建設協力金の家賃相殺額	△23	△24
売上債権の増減額(△は増加)	△15	△6
たな卸資産の増減額(△は増加)	91	△537
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△95	△541
仕入債務の増減額(△は減少)	△237	△217
その他の流動負債の増減額(△は減少)	588	△125
その他の固定負債の増減額(△は減少)	88	4
その他	18	12
小計	4,780	3,231
利息及び配当金の受取額	7	5
利息の支払額	△15	△18
補助金の受取額	6	6
保険金の受取額	44	—
災害損失の支払額	△255	—
法人税等の支払額	△1,409	△604
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,160	2,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,373	△2,796
有形固定資産の売却による収入	—	268
無形固定資産の取得による支出	△2	△86
差入保証金の差入による支出	△182	△100
差入保証金の回収による収入	13	43
建設協力金の支払による支出	△215	△232
預り建設協力金の受入による収入	62	—
事業譲受による支出	△1,300	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△414	—
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	16	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,394	△2,910

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	5,300	1,600
長期借入金の返済による支出	△1,377	△1,633
リース債務の返済による支出	△63	△97
自己株式の取得による支出	—	△175
配当金の支払額	△351	△350
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,507	△657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△726	△945
現金及び現金同等物の期首残高	6,384	7,363
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,658	6,417

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

1. 連結納税制度の適用

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間から連結納税制度を適用しております。

2. 自己株式の取得

当社は、2019年10月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

自己株式の取得状況

取得期間	取得株式数(株)	取得価額(円)
2019年10月11日～2019年11月30日	—	—
2019年12月1日～2019年12月31日	—	—
合計	—	—

(参考) 自己株式取得に関する取締役会の決議内容

資本効率の向上を図るとともに機動的な資本政策を行うため、自己株式を取得するものであります。

- | | |
|--------------|------------------------|
| ① 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得する株式の総数 | 100,000株(上限) |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 300,000,000円(上限) |
| ④ 取得方法 | 東京証券取引所市場における買付け |
| ⑤ 取得する期間 | 2019年10月11日～2020年3月31日 |